

〔ジメタメトリン・プレチラクロール粒剤〕 農林水産省登録 第 2 1 7 2 3 号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：4 年

包 装：3 kg × 8

S T バレー ジ® 粒 剤

有効成分：ジメタメトリン…………… 0.10% プレチラクロール …………… 2.0%

除草剤分類 5,15

バレージはシンジェンタ社の登録商標



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらの QR コードを読み取ると i-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

〔適用と使用法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	適用土壌	10 アール 当り 使用量	総使用回数*	適用地帯	使用方法
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 3日～10日 〔ノビエの 1.5葉期 まで〕 移植後 3日～7日 〔ノビエの 1.5葉期 まで〕	砂壤土～埴土 減水深 2cm/日以下 〔但し、近畿・ 中国・四国・ 九州では砂壤 土を除く〕	3 kg	本 剤：1 回 ジメタメトリン：2 回 プレチラクロール：2 回	東北・北陸以北 関東以西の普通 期及び早期栽培 地帯	湛 水 散 布

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失しないように散布する。なお、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意する。
- 主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	発生前から発生始期まで 発生前から発生始期まで 発生前から発生始期まで	アオミドロ 表層はく離	発生前 発生前
--------------------------	---	----------------	------------

- コナギ多発田での使用は効果が劣ることがあるのでさける。
- 苗の植付けが均一となるように代かきはいないに行う。未熟有機物を施用した場合は、特に代かきはいないに行う。
- 散布に当っては、水の出入を止めて、湛水のまま均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 下記のような条件下では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので、使用をさける。特に下記の条件と散布時または散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温が重なると初期生育の抑制が顕著になるので注意する。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が2cm/日以上）。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田。
- 活着遅延を生じるような異常低温が予測されるときは初期生育の抑制などが生じるおそれ

があるので、このような条件下での使用に際しては、県の防除指針に基づき、関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方](#) .pdf)」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4)－A」も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 広範囲の雑草に高い効果を示す初期除草剤：本剤は、ノビエなどに卓効を示すプレチラクロールに、藻類および表層はく離の発生を抑制するジメタメトリンを配合した水稻用初期除草剤で、ノビエ、カヤツリグサ、コナギ、アゼナ、キカシグサ、アブノメ、ミゾハコベなどの一年生雑草から、マツパイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリなどの多年生雑草まで、広範囲の雑草に安定した除草効果を示します。
- 藻類および表層はく離の発生を防止：ジメタメトリンを配合することにより、効果的に発生を抑えます。
- 処理適期幅が広い：雑草発生前からノビエの1.5葉期まで使用できます。
- 安定した除草効果：低温条件下で、雑草がダラダラ発生する場合でも安定した効果が得られます。
- 通常の使用条件では水稻に対する影響が少ない。